

# 五観中だより

広島市立五日市観音中学校 平成22年度『学校通信』第4号  
平成22年6月25日 発行

【正門前「校訓」碑】



## 川掃除 ゴミがたくさん 終わらない

5月30日(日)、五日市観音地区青少年健全育成連絡協議会主催の「岡の下川清掃活動」が行われ、早朝より69名もの生徒有志が精を出してくれました。ご協力いただいたPTA地区委員・保護者の皆様お世話していただきました地域の皆様、ありがとうございました。



参加してくれた生徒の皆さんは、「こんな物まで…」と様々なゴミを拾い集めながら、いろいろなことを思い、考えたのではないのでしょうか。これからの学校生活や社会生活を向上させていけるよう、この経験を生かさなくてはいけないと思います。



ところで、本日の『見出し』は、3年生が社会科の「個人と社会生活」という単元で作った「マナー川柳」です。ポイ捨て・ゴミ問題を題材にした作品には、他にも次のようなものがありました。紹介しましょう。



ポイ捨ては ルールも地球も 守れない  
ポイ捨ては 人の心も 捨てている  
捨てるなら ゴミではなくて その心  
捨てるより 捨ててきたもの 数知れず  
ボランティア そのする心 大事だよ

ボランティア清掃の「成果」と言っているのでしょうか？ 人間のおろかさがもたらした「迷惑な産物」です。



カバーが広く破かれ、修理のために全面はがされた掲示板です。

学校生活に目を向ければ、決して見過ごしてはならない悲しい実態があります。ゴミがたくさん散らかっています。菓子の包みも平気で捨てられています。吐き捨てられたガムやツバを吐いた跡には、とても不快感をおぼえます。故意に壊された掃除用具、蹴破られたドアの通気口など、器物損壊というれっきとした犯罪行為です。自分たちが生活する環境、母校を、自分たちの手で汚したり、おとしめたりしてはいけません。そんな中、生徒会活動では生活向上キャンペーンなど、学校の風紀改善や美化が進むような取り組みが、地道に行われています。このような取り組みが、全く無意味なものにならぬよう、自分たちでも気づき、考え、声をかけ合って正しい判断で行動できるようにしていかなければいけません。3年生が、次のような「マナー川柳」で学校生活に警鐘を鳴らしてくれています。よく詠んで、自分たちの行動を見つめ直してみてください。

学校で やる気は出さず シャツを出す 服装を 乱して心も 乱れるね  
登下校 道に広がり おしゃべりを ルールはね 自分のために あるんだよ  
職員室 礼儀がないまま 入るなや 非常識 周りに迷惑 かけないで  
広めるなら 迷惑連鎖より マナー連鎖 ルール違反 人のふり見て 我がふり直せ

## 今年度体育祭スローガン「One for all」で一致団結

いよいよ明日は体育祭。今朝まで朝練習など頑張ってきました。その素晴らしいエネルギーで、学級一丸となり、学年全校でも立派なパフォーマンスを披露し、サッカー日本代表のように、組織力を向上させましょう。

